

小型コミュニケーションロボット カスタマイズサービス開始

システムトラスト

プログラム追加 個人、法人需要狙う

IT関連サービスを展開するシステムトラスト(本社名古屋市中区錦、中浦正浩社長、電話052・212・2951)は、シャープ製小型コミュニケーションロボット「ロボホン」のカスタマイズサービスを近く開始する。法人や個人のニーズに合わせ、必要なプログラムを追加する。ペットのように使いたい個人や接客の無人化を検討する法人など、「幅広い分野でニーズがある」(中浦社長)と想定している。

(倉科信吾)

ロボホンはAI(人工知能)によって、顔や音声を認識して対話するなど、学習機能を兼ね備える。一足歩行に加えダンスができるなど運動機能も持つ。高さ

約19・5センチ、重さ約390グラムと小型軽量で、おでこに小型プロジェクトも搭載

事前情報を認識させて宿泊施設のフロント業務をさせたり、自動車販売店で顧客

に商品説明をさせるといったカスタマイズが可能で、主に人手不足の緩和や業務の効率化を狙う法人に提案する計画。
現在、社会福祉法人「くさみ会」(西尾市)の障害者施設向けにロボホンのプログラムを企画し実証実験することも検討している。問題点を洗い出しながらプログラムを修正し、多様な顧客ニーズに対応する考えだ。

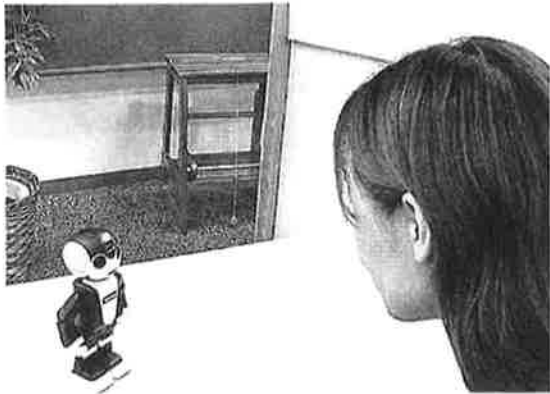


中浦正浩社長

している。

ロボホンに利用者の顔と名前を登録して会話をしたり、音楽を流しながらロボホンと一緒にダンスをするなど、楽しめる癒やし系ロボットとしても活用されている。

システムトラストの新サービスは、こうしたロボホンの基本機能にカスタマイズできるプログラムを追加する。ロボホンに常連客の



小型コミュニケーションロボット「ロボホン」